

ボウリング競技(知的障害部門)申し合わせ事項

5月29日 ハタボウリングセンター

競技規則

本項に定める以外は、平成22年度(財)日本障害者スポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則」により行う。

競技方法

- (1) 競技の勝者は、2ゲームの得点合計で各グループ内での順位をもって決定する。
- (2) ボウリングシューズ、ボールは各自の物を使用することが望ましいが、所持していない者は、ボウリング場のハウスボール、ハウスシューズを使用すること。(有料)
- (3) 競技の運営、進行については、すべて審判の指示による。
- (4) 男女ともスラックス又はトレーニングパンツを着用し、ソックスを必ずはくこと。

注意事項

- (1) 競技が、[午前の部] 少年・青年(～35才)と[午後の部] 壮年(36才～)と分かれているので、間違えないように来場すること。
- (2) 参加者が多数来場することが予想されるため、受付が混乱するので、係員の指示に従うこと。
また、9時、13時以前に来場しても、係員は準備をしているので対応をしかねる場合がある。
- (3) 受付で選手名簿を確認し、ハウスシューズを借用する者はお金を払って貸し靴券を受け取り、靴の借用場所まで行って靴を受け取り、定められたレーンに入ること。
- (4) 試合終了後、レーンつき審判員の指示に従って表彰場所に移動すること。ナンバーカードは表彰終了まではずさないこと。
- (5) 事前に送付されたナンバーカードは、表彰終了後にはずし各自持ち帰ること。
- (6) 競技の運営、進行については一切大会役員の指示に従うこと。
- (7) 競技開始後、ボウラーズベンチには役員・選手以外は入らないこと。やむを得ず入らなければならない特別な理由が生じた時は、審判の許可を受けること。また、ボウラーズベンチへ入る場合は、必ずボウリングシューズに履き替えること。
- (8) 競技中、選手がトイレに行く場合は、ボウリングシューズをぬぎ、通常の靴に履き替えること。
- (9) 競技中は特別な理由のない限り、飲食はしないこと。
- (10) ゴミは各自で持ち帰ること。
- (11) 弁当を食べる場所が無いので、昼食はハタボウル1階のレストランか、ファストフードの店その他を利用のこと。
- (12) むやみにボウリング場内のボウリング以外の施設に出入りしないこと。
- (13) 控室、休憩室は特別に設けていない。各団体・個人で対応すること。
- (14) 団体から出場する選手が欠席の場合、代わりに同じ団体の選手が出場することは原則としてできない。
当日、勝手に選手を入れ替えないこと。
- (15) 当日受付は混乱が予想される。多数で対応するが、限度があり、多少時間がかかることがある。
また、必ず選手名簿のミスプリントや、欠落がある。特別受付で対応するので、そちらに申し出ること。事前に欠席が分る場合は、大会事務局に早めに連絡をすること。

※表彰は競技終了後組ごとに行うので、表彰時間は選手によってかわることや隣のボックスでプレーする選手と表彰されることがある。レーンつき審判員の誘導に注意すること。

※大会プログラム、ナンバーカード(ピンク色)は事前に送付する。

※障害別参加区分

障 害 区 分	区分番号
知 的 障 害	01